

玖珠警察署協議会

第3回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年12月21日（木）

第2 出席者

公安委員 1名

協議会 委員 5名

警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、
警備課長 6名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

・業務推進状況及び令和6年玖珠警察署速度取締指針
について説明がなされた。

2 諮問事項説明

警察署から

・諮問事項（総合的な高齢者安全対策の推進）の取組状況
について説明がなされた。

3 諮問事項に関する意見

(1) 社会福祉協議会等との連携について

委員から「高齢者サロン等で食事や栄養についての講話をする機会が多く、
そこで社会福祉協議会の方が、県警のチラシを活用して特殊詐欺被害防止を呼
びかけているのをよく見かける」旨の意見がなされ、警察署から「当署では一
人暮らしの高齢者対策が重要と考えており、そういう方々と密接な関係にある
社会福祉協議会や包括支援センターに積極的に情報提供し協力要請を行ってい
る」旨の説明がなされた。

(2) 特殊詐欺の犯人からの指示について

委員から「特殊詐欺の関係で、家電量販店で電子マネーを買おうとした高齢
者の説明があったが、犯人からの指示で購入先を選んだのか」旨の質問がなさ
れ、警察署から「コンビニや金融機関での水際対策が強化されたため、電子マ
ネーの購入先や店員から質問された場合の答え方等を、犯人があらかじめ指示
するケースが多くなっている」旨の説明がなされた。

(3) 金融機関等での水際対策について

委員から「高齢者の特殊詐欺被害防止に、金融機関はどう協力をしているの
か」旨の質問がなされ、警察署から「ATM出金時の金額制限や携帯電話使用
者への声かけに加え、年末は県警の委託業者が、大分市を中心にATMを巡回
し、警戒を呼びかける事業にも協力してもらっている」旨の説明がなされた。

4 その他意見

(1) 大麻の依存性について

委員から「最近、大学生の大麻所持が騒がれているが、大麻と覚醒剤の違いは何か」旨の質問がなされ、警察署から「厳密には、成分や身体への影響等に違いはあるが、薬物依存を引き起こすことに変わりはなく、依存性が低い等の誤った情報の拡散により手を出す若者も多く、大麻が深刻な薬物依存の入口となる場合が多い」旨の説明がなされた。

(2) 豊後森駅付近の防犯カメラについて

委員から「豊後森駅付近の商店街に県の補助を受けた防犯カメラが、新たに設置されると説明を受けたが、24時間録画されるのか」旨の質問がなされ、警察署から「録画自体は24時間する予定であるが、映像が保存される期間は管理者である商店街の準備する録画機材で決まる」旨の説明がなされた。